

# ～民生文教常任委員会～

## 1 学校の新型コロナウイルス感染症対策について

**課題** 国が示す「学校の新しい生活様式」を取り入れた対策が必要である。人数が多いクラスを2クラスに分けた際、使用する特別教室にはエアコンが設置されていない。

**提言** ①普通教室として使用が想定される特別教室に、エアコンを令和3年夏までに設置すること。

これに対して町の回答は…



①施設の老朽化による改修も課題であり、各学校の実情や改修等の優先度合い、財政状況を検討し対応している。空調整備は、基本的に国の財政支援が受けられる大規模改修等とあわせて整備していく。



黒田原小学校の特別教室（音楽室）

## 2 不登校対応について

**課題** 当町においても不登校は増えており、その予防及び支援が急務となっている。学校を安心できる場所にすることや、教育相談室の教育環境を整える必要がある。

**提言** ①不登校が増える傾向の学年には、優先的に学習生活支援員を配置すること。  
②<sup>\*</sup>スクールソーシャルワーカー等の拡充を行い、更なる有効活用を図ること。  
③通室の利便性を高めるため、教育相談室を那須中学校区内にも設置すること。  
また、現在の老朽化した相談室の環境改善を図ること。  
④不登校児童生徒が、オンラインでの授業参加が出来る環境を整えること。

\*スクールソーシャルワーカー…問題を抱えた児童生徒を取り巻く環境に働きかけ、家庭、学校、地域の関係機関をつなぎ、児童生徒の悩みや抱えている問題の解決に向けて支援する専門家。

これに対して町の回答は…



①不登校傾向は人間関係だけではなく、学業不振、経済困窮、疾病、保護者の育児の不得意さなど様々な理由が考えられる。必要な支援をきめ細やかに行うことを最優先としながら、教育活動指導助手を配置していく。

②適切な人材の育成や確保を行った上で、財源の確保と拡充等について検討する。

③現在の教育相談室は、老朽化による不具合等はあるが、適度な立地条件と環境が整う。維持管理を行い、増設ではなく各中学校の校内フリースクールを定着させ、学習の場を確保していく。

④インターネット環境があれば家庭や教育相談室でも活用できる。通室児童生徒が学校と同様に学習を進める環境を整備していく。



教育相談室内